

令和5年度 第7回 市民と議会との意見交換会 報告書



伊 那 市 議 会

目次

1	第7回市民と議会との意見交換会の概要	4
(1)	趣旨	4
(2)	開催日時、会場、内容及び参加者数	4
2	主な検討テーマについて	6
3	各会場参加者から出された意見	23
4	アンケート集計表	29



はじめに

伊那市議会は、昨年に引き続き7回目となる「市民と議会との意見交換会」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症が、昨年5月からは感染症法上の位置付けが、5類感染症に変更はされましたが、感染防止対策を講じながら開催しました。今回は、8月中旬から9月の下旬までの期間に市内5会場で6回開催しました。

従来は、全会場とも平日の夜19時～21時までの開催でしたが、特に子育て世代やお勤めの方々にも参加いただける様に、初の試みとして祝日・土曜日の午前中開催の企画や、関係諸団体やテーマ対象世代への積極的な参加呼びかけ等実施したことにより、多くの市民の皆様にご参加いただき、誠に有難うございました。

意見交換会のテーマは、各会場ごとに「子育て世代の声を聞かせてください」、「高校再編とこれからのまちづくり」、「公共交通のあり方について」、「公園等の遊び場について」等、市民の皆さんが注目されているテーマを設定させていただきました。

当日は4～5人のグループ編成によるワークショップ形式で、テーマに沿って積極的に前向きな意見交換をしていただきました。

意見交換会実施後は、各常任委員会で意見集約をし、調査・検討等を経て市長部局への提言や議会活動に活かしてきた結果を、この度報告書としてまとめましたので、市民の皆様にご報告させていただきます。

市議会では、長年議会改革特別委員会を中心として、「議会機能の強化を図り信頼される議会」を目指して、その仕組みづくりに取り組んで参りました。

今年はいよいよ議会機能の強化に向け、市民の皆さんからいただいた今回の様な貴重なご意見等を、ベースにし各常任委員会毎にテーマを選定し、「特定所管事務調査・精査」「提言」「提言内容の予算反映確認」へと、「政策サイクル」を回す実践スタートの年としたいと思っております。今後も実施日時の周知方法、若者・子育て世代が参加しやすい開催日時、結果報告書の周知の方法等について、改善に向けた検討を重ねながら工夫を凝らし、今後も多様な世代、特に子育て世代の方々、多くの地域の皆様と意見交換を行い、皆様の声を政策サイクルの「テーマ」につなげることにより、市民に開かれ信頼される議会、住みよい伊那市を目指すための市民の代表としての議会であるという機能を、果たしていきたいと考えております。

なお、「市民と議会との意見交換会」に関するご意見・ご要望等がございましたら、議員または市議会事務局まで、お申し出くださいます様お願い致します。過去6回の報告書も市役所・各支所・市図書館等に置いてありますので、是非ご覧いただければと思います。

令和6年2月

伊那議会議長 白鳥 敏明

1 第7回市民と議会との意見交換会の概要

(1) 趣旨

市民に開かれた議会を目指した改革の一つとして、市民により身近で、透明性のある議会運営を行うこと、また市民の声の受け皿としてご意見をいただき、意見交換をする中で情報共有をすることが重要と考え、この「市民と議会との意見交換会」を開催しています。

市民の皆様の声をお聞きすることを主としたいという思いから、「意見交換会」の形式としています。単純な要望をお聞きするというよりも、市民の皆様との対話の中で生まれるものを大切にしたいと考えています。

伊那市議会全体として開催する会と位置づけ、資料の準備、会場設営、当日の運営などを議員が自ら行っています。

いただいた意見は、伊那市議会として調査、研究、検討を行い、必要に応じて市長部局への政策提言等の実施に結び付けていきます。

(2) 開催日時、会場、内容及び参加者数

参加者をグループに分け、ワークショップ形式で行いました。

- 令和5年8月10日(木) 19:00~21:00 参加者数: 15名
生涯学習センター (いなっせ5階) 総務文教委員会担当
 - ・公共交通のあり方について
 - ・子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて

- 令和5年8月10日(木) 19:00~21:00 参加者数: 9名
Inadani sees (伊那市産学官連携拠点施設) 経済建設委員会担当
 - ・高校再編とこれからのまちづくり~多様な人が集うまちを目指して~

- 令和5年8月11日(金・祝) 10:00~12:00 参加者数: 4名
高遠町総合福祉センター やますそ 総務文教委員会担当
 - ・公共交通のあり方について
 - ・子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて

- 令和5年8月22日(火) 10:00~12:00 参加者数: 7名
高遠子育て支援センター 社会委員会担当
 - ・子育て世代の声を聞かせてください 託児あり

○令和5年9月26日（火）19：00～21：00 参加者数：22名
高遠町総合福祉センター やますそ 経済建設委員会担当
・これからの観光～人・こと・もの・技をいかして～

○令和5年9月30日（土）10：00～12：00 参加者数：3名
伊那公民館 社会委員会担当
・公園等の遊び場について

2 主な検討テーマについて

各会場で出された意見のうち、検討テーマとして取り上げたものは次のとおりです。

※各会場で出された意見は、23ページ以降を参照ください。

番号	検討テーマ	検討結果 ページ
1	【高校再編への意見】 高校再編について、小学校6年生から統合される対象となるが、何の情報もない。すでに決まったことは対象となる保護者に知らせて欲しい。	8
2	【子育て世代の声を聞かせてください】 子育てコンシェルジュ的な窓口の一元化があれば、相談がしやすい。 どこに聞けば良いのか分からないことが多い。	9
3	【子育て世代の声を聞かせてください】 室内の遊び場（屋根付き駐車場）希望。雨の日でも遊べる環境が欲しい。	10
4	【子育て世代の声を聞かせてください】 病児保育があるが、（あるだけで）使いにくい。手続きが大変で使うのが大変	11
5	【公園等の遊び場について】 街中にバスケットやキャッチボールができる場所などが欲しい。	12
6	【公園等の遊び場について】 使われている公園なのかどうなのかわからない、自由に遊んでいい場所かわからないので表示をして欲しい。	13
7	【公園等の遊び場について】 利用できる公園マップを作成、生後10ヶ月位の頃にダイレクトメールするか健診の際に渡すようにして欲しい。	14
8	【サルの被害対応について】 高遠町のサル被害対応について、地区の状況など実態を調べて対応してもらいたい。	15
9	【高遠を中心とした歴史・文化の観光活用について】 ○高遠城の復活。日本で最後に作られた城として観光PR ○城址公園の充実 ○鉾持神社のお祭りを観光にできないか。 ○石仏を見て街をゆっくり歩く文化を。 ○街道の観光（秋葉街道・諏訪街道）の周知と活用をして欲しい。	17

1 0	【観光に関しての“ひと”について】 ○市の職員を含む（観光に対する）人材の育成をして欲しい。 ○ガイド協会に高校生の力、女性の力、障害者の力を活用してお金を払うなど	1 9
1 1	【農家民泊などに関することについて】	2 1
1 2	【山について】 ○南アルプス ○里山について	2 2

No	テーマ	処理担当委員会
1	高校再編への意見	総務文教委員会
市民から出された意見		
<p>○高校再編について、小学校6年生から統合される対象となるが、何の情報もない。すでに決まったことは対象となる保護者に知らせて欲しい。</p>		
現状・市の対応（学校教育課）		
<p>○令和5年4月に上伊那広域連合、経済団体、上伊那市町村教育委員会連絡協議会が連携して、伊那新校(仮称)に関する要望書を県知事及び長野県教育委員会教育長へ提出しています。その中で、「地域住民等への説明と意見聴取」、「生徒の夢につながる質の高い伊那新校の教育の実現」、「児童や保護者、小中学校の関係者等へ、分かりやすい情報提供」について、要望しました。</p> <p>○内堀教育長からは、情報発信に係り「市町村の広報誌や回覧板等による情報発信も考えたい。」との大変前向きな発言をいただいたところです。</p> <p>○こうしたことから、上伊那広域連合の広報誌「広報かみいな(10月)」に高校再編について記載されたところです。県教育委員会では、今後も機会をとらえて情報発信をしていくと聞いていますので、児童や保護者、小中学校の関係者等へ情報が届くように連携していきたいと考えています。</p>		
市議会としての考え・対応		
<p>○県教育委員会からの情報については、広報かみいなで取り上げられていましたが、配布先は十分ではないと考えられます。</p> <p>○小中学校を通じて児童や保護者に伝わるように、各小中学校校長会でしっかりと確認して情報提供するよう市教育委員会へ要請していきます。</p>		

No	テーマ	処理担当委員会
2	子育て世代の声を聞かせてください	社会委員会
市民から出された意見		
<p>○子育てコンシェルジュ的な窓口の一元化があれば、相談がしやすい。 どこに聞けば良いのか分からないことが多い。</p>		
現状・市の対応（子育て支援課）		
<p>○現在、子育て支援課には子育てコーディネーター（*）を配置しているほか、健康推進課、子ども相談室、学校教育課、生涯学習課等子どもに関わる課が連携して、必要な部署へつなぐ体制を取っています。</p> <p>○今後行われる予定の、子どもに関わる組織の再編に合わせて、わかりやすい表示など検討していきます。</p> <p>注*：子育てコーディネーター＝現在、子育て支援センター等で市民対応している。</p>		
市議会としての考え・対応		
<p>○市民が利用しやすい窓口体制に向けて、組織の再編が行われ、分かりやすい表示や案内がされるよう要請していきます。</p>		

No	テーマ	処理担当委員会
3	子育て世代の声を聞かせてください	社会委員会
市民から出された意見		
○室内の遊び場（屋根付き駐車場）希望。雨の日でも遊べる環境が欲しい。		
市議会から市への依頼事項		
○市内には、いなっせ7階や体育施設など、雨天時でも過ごせる場所がいくつかあります。それらがなかなか知られていないため、周知の方法をご検討ください。		
○また、現在使われていない公共施設などを、今後、雨天時等に使用できる居場所として計画的に整備をしていくことを提案します。		
現状・市の対応（文化交流課、スポーツ課、子育て支援課）		
○現在、生涯学習センターのホームページや市報の文化施設だよりなどへは掲載しておりますが、周知が不十分ということを踏まえ、子育て支援施設へのチラシ配置や安心安全メールを使った方法など、新たな周知方法を検討し、行っていければと考えます。		
○雨天時に利用できる体育施設は、市営の体育館、武道館、屋内運動場などがありますが、予約や既に利用がある場合は利用できません。また、利用するには料金も発生します。施設の利用状況や料金など詳細については、直接施設の管理者（伊那市振興公社）へ問い合わせをお願いします。		
○伊那市や箕輪町、南箕輪村の子育て支援センター、生涯学習センターちびっ子広場は就学前のお子さんを対象として、雨天でも遊べる施設です。子育てガイドブックや市公式HPのほか、0、1、2歳児向け安心安全メールでは講座情報などを毎週案内しています。		
○今後、もう少し大きいお子さんも遊べる、全天候型の施設について、空き施設の利活用等を研究していきます。		
市議会としての考え・対応		
○さらなる周知方法の工夫がされるよう期待します。また、全天候型の施設については市民からの要望も多いため、出来るだけ早期に実現できるよう要請していきます。		

No	テーマ	処理担当委員会
4	子育て世代の声を聞かせてください	社会委員会
市民から出された意見		
○病児保育があるが、(あるだけで) 使いにくい。手続きが大変で使うのが大変		
市議会から市への依頼事項		
○病児保育を利用する際の手続きが大変(具合が悪い子を見ながら)で、なかなか利用したいときに利用できないという意見がありました。		
○Webによる(スマホなどでの)手続きができるようにして、現状より簡単に利用できるように検討をお願いします。		
現状・市の対応(子育て支援課)		
○現在、病児保育室(伊那中央病院、いちごハウス(箕輪町)、すずらん(駒ヶ根市)おひさまハウス(飯島町))の登録や利用申請は紙(近隣市町村と共通)での申請をお願いしております。市町村ごとにやり方が違うと、受け入れ側の処理が複雑になるため、近隣市町村と協議した上で、電子申請等で利用申請や予約の手続きが行えるか検討します。		
市議会としての考え・対応		
○電子申請等での利用申請や予約を検討することですので、今後、早期に実現するよう働きかけていきます。		

No	テーマ	処理担当委員会
5	公園等の遊び場について	社会委員会
市民から出された意見		
○街中にバスケやキャッチボールができる場所などが欲しい。		
市議会から市への依頼事項		
○創造館やセントラルパークの一部などの公共施設を、バスケやキャッチボールができるスペースとして確保することはできないでしょうか。		
現状・市の対応（生涯学習課、都市整備課ほか）		
<p>○セントラルパーク等の公園は街中の憩いの場として、子どもから高齢者まで幅広くご利用いただいています。街中という立地であり十分なスペースが確保できないことから、ご提案いただいたバスケットボールやキャッチボールを安全に行っていただけるスペースを確保することは困難です。</p> <p>○なお、現在すすめている伊那北駅を中心とした伊那市まちづくり推進事業や街中の再整備を行う際は、バスケットボールやキャッチボールに限らず様々な活用を検討します。</p> <p>○創造館の庭は「創造の森」として創造館改築の時に建物と一体的に庭園として整備し、市民の憩いの場として利用していただいています。園内を散歩したりベンチに座って休憩したりといった文化的な使われ方を想定しているため、運動施設として開放することは考えておりません。</p>		
市議会としての考え・対応		
○伊那北駅を中心としたまちづくりについては、市民の声を取り入れて進めるよう要請し、注視していきます。		

No	テーマ	処理担当委員会
6	公園等の遊び場について	社会委員会
市民から出された意見		
○使われている公園なのかどうなのかわからない、自由に遊んでいい場所かわからないので表示をして欲しい。		
市議会から市への依頼事項		
○市で所有・管理等している公園で、だれでも遊べる公園だということが分かる表示をしていただけないでしょうか（例えば、イーナちゃんが遊んでいるイラスト等）。		
○また、保育園の園庭を解放して欲しいとの声もありますので、あわせて検討願います。		
現状・市の対応（都市整備課、子育て支援課）		
○保育園の園庭については施設管理の都合から、園開放・園庭開放日のご利用をお願いしています。日程については各園にお問い合わせください。		
注：児童遊園地は区で管理しているもの		
市議会としての考え・対応		
○区が管理している公園も市が補助金を出すなどして、市内統一の表示をするといった工夫が考えられないか要請し、働きかけていきます。		
○園開放については、市民から土日の要望も多くあります。様々な課題もあることは承知していますが、前向きな検討を依頼していきます。		

No	テーマ	処理担当委員会
7	公園等の遊び場について	社会委員会
市民から出された意見		
○利用できる公園マップを作成、生後 10 ヶ月位の頃にダイレクトメールするか健診の際に渡すようにして欲しい。		
市議会から市への依頼事項		
○Google マップを活用して公園や遊び場などを分かりやすく案内することはできないでしょうか。No. 5 のバスケットボールができる場所などもあわせて地図上で確認することができるのととても便利なのではないかと思います。		
現状・市の対応（都市整備課、子育て支援課）		
○都市公園については、ホームページや子育てガイドブックなどで広報しています。ご提案の公園マップの作成も含めて、様々な媒体による広報を検討します。 ○地区で管理する児童遊園地の利用については、各地区の基準があるかと思しますので、Google マップの活用については、まずは、各地区へご案内していきます。（「伊那市 公園」で Google 検索すると、市管理の公園も含め 40 ほどの施設が登録されています。）		
市議会としての考え・対応		
○若い世代はスマートフォン等の利用による情報収集が中心と考えられます。市の公式 LINE の充実と、SNS 他の媒体での広報をすすめるよう注視していきます。		

No	テーマ	処理担当委員会
8	サル被害対応について	経済建設委員会
市民から出された意見		
○高遠町のサル被害対応について、地区の状況など実態を調べて対応してもらいたい。		
現状・市の対応（耕地林務課、農政課）		
<p>○現状での市で行っているサルの対策（追い払いで補助しているものなども含めて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・捕獲檻の設置（伊那：6箇所、高遠町：6箇所、長谷：1箇所） ・捕獲奨励金の交付（10,000円／頭） <ul style="list-style-type: none"> 令和5年4月～12月の捕獲数（伊那：24頭、高遠町：43頭、長谷：14頭） * 追い払いに対する補助は行っていませんが、捕獲できた場合には上記捕獲奨励金を交付しています。 ・電気柵、防護柵の設置に対する補助金の交付（国庫補助、市単独補助） <ul style="list-style-type: none"> ①国庫補助 補助対象：3戸以上の受益者 補助内容：防護柵など、自力施工の場合は資材費の10割 請負施工の場合は、1／2以内 ②市単補助 補助対象：2戸以上の農業者または農業者団体 補助内容：資材費の1／2、上限75万円 * 防護柵や電気柵については、猿に限定した対策ではありませんが有害鳥獣対策として実施しています。 <p>○今後の個体調整の目標数値など</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度捕獲目標数：150頭（伊那：40頭、高遠町：80頭、長谷：30頭） 令和4年度駆除頭数：137頭 <p>○各区長を通じてサルの被害報告及び檻の設置希望調査を行い、調査結果を基に檻の設置などを行っていきたいと考えています。</p>		

市議会としての考え・対応

- サルの農作物被害などが深刻であり個体調整や群れでの管理もさらに必要となり、広域的に取り組む必要があると考えます。長野県での第4期ニホンザル管理の計画について、令和4年4月から5年間の計画をしていると思うので、引き続き県にも個体調整管理や群れの調査について要望していきたい。
- 地域住民の皆さんにも地域全体としての対策や、エサとなりうる生ごみの処理や食べ物の処理についても外に放置しない、藪の手入れ、除草をして緩衝帯を設けるなどの協力をお願いします。
- 市・県に対し引き続き対応をお願いしていきます。

No	テーマ	処理担当委員会
9	高遠を中心とした歴史・文化の観光活用について	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>○高遠城の復活。日本で最後に作られた城として観光PR</p> <p>高遠城の築城により、地域の材木を使用など、地域で用意できる材料を利用するなど、築城に係わって地域資源（ハード、ソフト面）を利活用するなど、築城に便乗した地域活性化。</p> <p>観光ポイント（ブロック）を作り、歩いての移動や車等で移動し、その地域を学ぶことができるイベントがあれば良い。</p> <p>→高遠の歴史、長谷の自然、富県の竪穴式住居などの歴史 等</p> <p>○城址公園の充実。ひと・イベント・新技術で、年間通して誘客。屋台、山車を町内に展示して見られるように。冬のイベントとして仙醸など酒蔵との連携ツアーを企画するなど</p> <p>○鉾持神社のお祭りを観光にできないか。</p> <p>○石仏を見て街をゆっくり歩く文化を。もっとPRしても良い。今のパンフレットが良い</p> <p>○街道の観光（秋葉街道・諏訪街道）の周知と活用をして欲しい。</p>		
市議会から市への依頼事項		
<p>○現在も様々な取組み（石工のイベント、地元公民館でのまちあるきウォークラリーや、石工と自転車の活用、高遠城をモチーフにしたイベントでのショーなど）を行っていますが、今後も高遠を中心とした観光資源を積極的に活用していきたいと考えています。</p> <p>○市内酒蔵ツアー（酒蔵・ワインやシードルも）などはいかがでしょうか。</p> <p>○高遠城址公園の整備は文化庁の許可や調整が必要となってくるので難しいと思いますが、VRや、マインクラフトや高遠ぶらりなどのアプリを活用して子どもたちにも興味を持ってもらえるような取組みはいかがでしょうか。</p> <p>○地域おこし協力隊も高遠地区の方の活躍やこれから募集される地域おこし協力隊（石工）の方の活動にも期待していきたいと思っています。</p> <p>○議会としても意見交換などをしてアイデアを考えていきたいと思っています。</p>		

現状・市の対応（生涯学習課・高遠商工観光課）

高遠を中心とした観光資源を活用した観光施策の現状

- さくら祭りをはじめ、バラ祭り、もみじ祭り、だるま市といった恒例の誘客イベントに加え、高遠石工を観光資源として、石仏巡りと町歩きを掛け合わせたイベント（スタンプラリー）や建福寺のライトアップ（4月、9月）を実施している。
- また、高遠御城下通りの無電柱化による町並みの景観を新たな観光資源として、町歩き（謎解きイベント）や町なかを会場にしたイベント（高遠バラぶらり）など、観光誘客につながる事業に取り組んでいる。
- 民間事業者や関係団体と連携しながら、「信州そば発祥の地」、「高遠そば」を観光資源として、通年で誘客に結び付ける取組み（チェックインラリー、伊那そばマップ製作）などにより、信州有数の蕎麦処として定着を図っている。
- このほか、「日本で最も美しい村」の取組みとして、高遠町の魅力をPRすることを目的としたフォトコンテストや、地域おこし協力隊と連携しながら高遠石工を全国に発信するための商品開発（石仏ガチャ）に取り組んでいる。

高遠城址公園、高遠城整備の現状と考え方

- 史跡高遠城跡の復元整備の方針について、昭和62年に策定した「史跡高遠城跡保存管理計画策定報告書」において、「廃城直前の姿にできる限り近づける」と記しています。方針に基づいた整備を進めるためには、発掘調査や絵図、文献調査を進めるとともに、公園内の桜などの植生との調整を図る必要があります。このことをふまえて現在、令和7年3月を目途に「史跡高遠城跡保存活用計画」を作成しています。さらに保存活用計画を基に、令和8年3月までに、「史跡高遠城跡整備計画」を策定する予定です。

市議会としての考え・対応

- 石仏カードの作成や、イベントのすき間の誘客についてのアイデアなど引き続き議会もともに知恵を出していきたいと考えます。

No	テーマ	処理担当委員会
10	観光に関する “ひと” について	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>○市の職員を含む（観光に対する）人材の育成をして欲しい。</p> <p>○ガイド協会に高校生の力、女性の力、障害者の力を活用してお金を払うなど</p>		
現状・市の対応（観光課・観光協会）		
<p>市で把握していればい〜なガイドの登録者数などの現状と課題</p> <p>○い〜なガイド会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・い〜なガイド会会員数 33名 ※R5.12.13 現在 <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に、高遠城址さくら祭り・もみじ祭りにて観光ガイド活動を行う。 ・また、外部依頼（市内の観光要素の高い）のガイド活動。 ・その他、年5回程の勉強会や、必要に応じた自主学習会など開催。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化による会員数の減少及び、行動範囲などガイド内容が狭まってきている。 ・また、就業者もおり、状況的にガイド活動に積極参加ができない。 ・ガイド養成講座受講者の内、ガイド会への入会者数が少ない。 ・ガイド者への魅力づくり（やりがい、ガイド収益化など） ・他ガイド会とのすみ分け（ガイド内容が重なる） <p>○ガイド会員になるには、養成講座受講や勉強会への参加をお願いしている。</p> <p>○（参考）高遠石工ガイドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイド予定者数9名 ・養成講座の受講を要する。（基本となる講座を年間5回を3年間行った。） <p>そのほか実技研修等開催</p> <p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な養成講座が終了した段階 今後ガイド会立ち上げを予定、運営方法を検討中。 ・高遠石工関連イベントの運営サポート <ul style="list-style-type: none"> 高遠城下石仏ウォークおもてなし隊 建福寺秋のライトアップ石仏のきらめき経木のあかり ・高遠小学校と連携し「高遠石工探検隊」を行い、案内技術の向上および地域密着を図っている。 <p>（参考）ジオガイドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数 33名 R5.12.1 現在 ・現状 <ul style="list-style-type: none"> ジオパークがテーマとする地形や地質のみどころとあわせて南アルプス山麓地域の自 		

然や文化の魅力をガイドしている。

<課題>

- ・ガイド需要が少ない。
- ・会員数の減少、高齢化が進み、新規養成を行っていく必要がある。
- ・ジオパークエリアは飯田市や大鹿村にもまたがっており、人材や関係する団体に地域差がある。
- ・ガイドの内容に応じたガイド料金の設定し、ガイドの技術向上を図る必要がある。
- ・高校生ガイドの養成をしてきているが、活躍できる場がない。

<ガイドの要件>

- ・ジオパークガイドになるためにはガイド養成講座を受講する必要がある。

市議会としての考え・対応

- いーなガイドの会の人材育成の充実が望ましいので、委員会としても応援していきたいと思えます。
- また、ガイドの活動の広報が市民に伝わると良いかと思えます。
- さらに、ガイドだけでなく、まち全体で地域資源の知識を習得して観光客の対応などしてもらえるような機会があると良いと思えます。
- 市内の学校だけでなく、上伊那へも積極的に地域の学習の中で石仏やジオエコパークなども触れてもらえるよう働きかけていきます。
- ガイドの今後の運営について、やりがい、モチベーション、報償なども含めて検討していく必要があると考えています。

No	テーマ	処理担当委員会
1 1	農家民泊などに関することについて	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>○子ども達を含め、農業体験など、自然体験はとても大切。 伝統食や農業を活かした観光、農泊（民泊）自然体験を推進していくと良いのでは。 身近な川、山で子ども達に遊んでもらえる環境を整えることが必要では。</p> <p>○春夏秋冬、四季折々の良さをPRすべき。 伊那の自然環境は、売りがたくさんあるので農村風景の景観も守っていききたい。</p> <p>○高遠地区、長谷地区の農家民泊数の向上を目指す。 農家民泊の充実で長期滞在できる場所の確保ができないか。</p>		
現状・市の対応（観光課）		
<p>農家民泊の現在の状況（登録者数、受入れ実績）</p> <p>○登録軒数 12/12 現在 68 軒 受入実績 R 5 年度 国内教育旅行6 団体 インバウンド3 団体</p> <p>受入れた家庭での報償など</p> <p>○あります。賃金ではなく各農家への委託になります。 団体基本料金 一泊二食2～3 h 体験込 @8,500（冬期は+暖房費）</p> <p>受け入れた家庭の感想など</p> <p>○楽しく受け入れをしていただいております。 ○いろんな子どもがいますので、良いばかりじゃないこともあります。 ○農業体験や自然体験（里山歩き、川遊び）、各家庭で工夫して自然体験を提供していただいています。 ○慣れるまでは、少し疲れたといったお話もありますが、思っていたよりも大変ではなかったというお話が多く感じます</p>		
市議会としての考え・対応		
<p>○委員会でも農家民泊を推進して地域活性化につながるといいと考えています。 現状でも教育旅行、合宿の受入れなど実績がありますし、地域おこし協力隊の方も充実に向けて取り組んでいるかと思いますが、地域としても協力していけるよう議会でも盛り立てていきます。</p> <p>○農家民泊についての広報が観光協会HPに掲載されていますが、メニューやカリキュラムなどもあり、取り組みやすくなっていることもPRできるとさらに良いのではないのでしょうか。</p> <p>○農家民泊について地域での裾野が広がるように応援していきます。</p>		

No	テーマ	処理担当委員会
1 2	山について	経済建設委員会
市民から出された意見		
<p>○南アルプスについて 山に登ってただ帰ってしまうのではなく、街での滞在時間を長くし、街中を探索していただき、地域にお金を落としてもらうためにはどうしたら良いか考える必要がある。</p> <p>○里山について 入笠山へのアクセス道路、山室側からの県道芝平高遠線整備を進めて欲しい。 千代田湖・入笠山・守屋山・杖突峠等観光地が多いが、諏訪圏域や箕輪町と連携しあって活性化を目指す必要がある。 里山スタンプラリーなどの取り組みはどうか。</p>		
市議会から市への依頼事項		
<p>○南アルプスとまちをつなぐようなジオライナーやジオタクシーの取組み、南アルプスの玄関口となる仙流荘の整備が進められているかと思いますが、市民にもPRしていきたいと 思います。議会としても経過を見ていき、さらなる知恵と一緒に考えていきたいと思 います。</p> <p>○伊那の里山の活用については委員会としても活性化していきたいと考えています。</p> <p>○ヤマップやヤマスタのアプリと連動した伊那市の里山をめぐるスタンプラリーなどは いかがでしょうか。千代田湖の整備もあり、今後は期待できるかと思 います。</p>		
現状・市の対応（観光課）		
<p>里山の活性化を目指した活動としての取組みはあるのかどうか</p> <p>○地域住民が地域の里山に登り、登るために整備する取組みは、自治会や公民館活動と して行われています。より多くの方々に来ていただくために、マップを作って案 内を行っているほか、里山を対象としたツアーに取り組んでいます。</p> <p>里山の缶バッチ（守屋山と入笠山）の取組みなどの結果はいかがでしょう</p> <p>○令和3年度から里山缶バッチの取組みを進めています。守屋山も入笠山も多くのみな さんが訪れており、今後もより効果的な方法を検討し、さらに周辺の里山や山岳高原 観光に誘導する取組みを進めていきます。</p>		
市議会としての考え・対応		
<p>○市には、引き続き里山の対象拡大なども含めて取組みをお願いしていきます。</p> <p>○里山整備についても市民の皆さんに利用してもらい、盛り上げられるようにしてい きます。</p>		

3 各会場参加者から出された意見

開催日	会場	テーマ
令和5年 8月10日(木)	生涯学習センター (いなっせ5階)	「公共交通のあり方について」 「子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域 とのかかわりについて」
<p>○公共交通のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルタクシー、ぐるっとタクシーは運行時間延長希望・時間制限をなくして欲しい。 ・デジタルタクシー、ぐるっとタクシーの利用区域を拡大して欲しい。台数を増やして欲しい。 ・上の原地区はなぜ市街地か？非常に不便。 ・ぐるっと、デジタルタクシーの予約を3日前位からできるようにする。 ・利用料金(250円や500円)を値上げしてもいいから、使い勝手のいいものにして欲しい。 ・ぐるっとタクシーの使い方がわからない。 ・市内タクシーの利用方法を統一して欲しい。…市長答弁ではムリと発言あり ・公共交通の周知が足りない。 ・車がないと暮らせない伊那市だからどこに住んでいても公平平等になって欲しい。 ・障害者に行動の自由を。移動手段が家族に負担やリスクがあって精神的支援が欲しい。付添人も同乗できるようにして欲しい。 ・子どもや引きこもりの方、病弱な方、高齢の方の「スキマ」を埋める移動手段や仕組みが欲しい。今は享受されていない方がいる。 ・この「スキマ」はドライバー不足のタクシー会社だけでは解決できないので、もっとボランティア送迎を取り入れたらどうか。「助け合い送迎」の提案あり。 ・「おのりな号」の稼働をもっと行うべきではないか。マンパワーがなければ協力したい。 ・タクシー事業者に不足する車両台数やドライバー人件費等、市費での支援をもっとすべきではないか。 ・「スキマ」を埋めるボランティア事業で、タクシー事業者から「民業圧迫」などネガティブなことを言われぬよう、共栄できるように市が補償して欲しい。 ・ボランティア事業と言えども、ガソリン代や保険料は市が補償して欲しい。 ・公共交通のためのボランティア事業に「チケットボランティア」「ふるさと納税」等を使えないだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・財源にふるさと応援基金を活用して、タクシー運転手不足…市で運転手を養成。タクシー補助券の発行。 ・高齢者タクシーの利用状況(現状)はいかがですか？ ・バスの便が少ない。・もっとバス路線の充実を。・伊那から箕輪などの地域へ行くバスがない。 ・バスがいつも空で走っていてもったいない。 ・バスでは同じ方向に行く人であれば効率的である。バス停まで歩くことについて足腰が丈夫ならば便利。…バス停の間隔(距離)を短くして欲しい。 ・路線バスを利用したい。(行きたい所に行く手段として)(自立心を大切にしたい)残すべき。 ・リニア新幹線ができた時のJR飯田線の状況はどうなりますか？ ・高齢者になっても元気に暮らしていくには、我慢せずに行きたい所に行くことができる交通機関 		

が必要。観光面でも。・交通弱者だけでなく、誰もが使える公共交通は残さなければいけない。

- ・もう少し小回りの利くマイクロバスまたはタクシーを増やして欲しい。・公共交通が使えない。
- ・免許返納したらバスで動くのか？不安。移動不便
- ・過疎地域の高齢者の町への買い物が不便ではないですか？（便数の減少）
- ・木曾町に比べて公共交通にかける予算が非常に少ない。

○子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのかかわりについて

- ・子どもの不登校問題で「伊那小」に移住等で集まっているので、「不登校の子どもを受け入れる伊那市」や「ひとり親を受け入れる伊那市」になって欲しい。
- ・弥生ヶ丘高校の「跡地」を、「子どもの居場所」にして欲しい。しかし公共交通がないので移動手段が不便になることで困っている。
- ・荒井区はコロナ前の行事をすべて復活している。

○意見交換会について

- ・「市民と議会との意見交換会」を年1回だけでなく、もっと頻繁に開いて欲しい。

○議員関係

- ・市議會議員が公共交通について全然理解がない。もっと勉強してもらいたい。
- ・伊那地域公共交通協会のメンバーに議員を入れるべきだ。
- ・議会6月定例会でぐるっとタクシー、市街地デジタルタクシー請願5人が事実上反対したのは異常だ。

開催日	会場	テーマ
令和5年 8月10日（木）	Inadani sees (伊那市産学官連携拠点 施設)	「高校再編とこれからのまちづくり ～多様な人が集うまちを目指して～」

○駅周辺の再開発が必要（駅・道路・交通）

- ・伊那北駅の建て替え 伊那北駅の東側にも駅への入り口の設置を。
- ・駅ビルの開発 ・電車の待ち時間が過ごせる涼しい場所を伊那北駅前に。
- ・伊那北駅前の道路及び高校生の歩道の整備（街灯設置やトイレの設置なども）
- ・駅前商店街の駐車場の開発。伊那市駅には送迎用の駐車場が欲しい。
- ・伊那市駅から伊那北駅前までの商店街活性化（学生がゆっくり過ごせるお店など）
- ・市道二条線の踏切に歩道の設置を。 ・レンタサイクルの設置
- ・伊那市駅から伊那北駅まであるいは新校まで送迎バス（自動運転など）を走らせて欲しい。

○まちづくりにのぞむこと

- ・行政と住民のパートナーシップによるまちづくり
- ・移住者がずっと住みたくなるまち ・“町を楽しむ”、“町で学ぶ。”⇒集うことのできる町
- ・上伊那広域の拠点となるようなまちづくり
- ・不登校、子どもの生きづらさを解消できるようにしたい。
- ・小中学生の時から、地域の人や企業の人と繋がる機会の多いまち
- ・緑が多く、公園がある、伊那市らしい自然豊かなまち
- ・若い人、年配の人、男性、女性、LGBT等、多様な方が楽しめるまち

- ・遊園地を街中に造る。 ・学生寮などの設置 ・空き家等の対策

○高校生などの居場所

- ・個人で勉強できるスペースをもっと増やして欲しい。
- ・高校生が長くいられる公園。キッチンカーも来られて商業利用にもつながる。(伊那北駅)
- ・友達とおしゃべりしながら勉強できるカフェ、伊那らしい場所
- ・いなっせの5階 おしゃべりしても良い場所に。
- ・伊那市駅と伊那北駅の区間の若者交通費を無料にする。もしくは送迎する。

○高校再編への意見

- ・高校再編について、小学校6年生から統合される対象となるが、何の情報もない。すでに決まったことは対象となる保護者に知らせて欲しい。
- ・新校は地域密着の進学校を目指して欲しい。 ・愛郷心を育む教育、機会を増やして欲しい。
- ・地区ごとの歴史や伊那市の歴史を学ぶ機会が増えると良い。(伝える人も作る。)
- ・勉強分野だけでなく、幅広い分野で世の中に学校の名前がアピールできるように。
- ・幅広い学びと部活に活躍できる高校に。 ・特化した学科があれば良い。
- ・新校と上伊那企業の交流、インターンシップ、協力しあう体制づくりを。
- ・自己実現できる高校に。共に学ぶ、楽しさが味わえる高校に。
- ・新校から伊那市を変える、学ぶことができる。 ・新校の風紀はそれなりに。
- ・新たな学舎 子どもから大人(シニア世代)までチャレンジできる学舎

○伊那弥生ヶ丘将来活用について

- ・寮の食堂は地産地消で、こども食堂ができる。
- ・夜間中学の設置(不登校の子、外国籍、成年)
- ・若者が自主運営できる活動の場に。多世代との交流も。(障害者、高齢者、都会の人、子どもの遊び場) ・子どもや若者の居場所に。

○その他

- ・移住者の伊那小から伊那中への進学率が悪い。(小学校卒業とともに地元に戻ってしまう。) →小中一貫校を作ったらどうか。
- ・伊那北駅から西箕輪までのバス利用をよくしたい。

開催日	会場	テーマ
令和5年 8月11日(金・祝)	高遠町総合福祉 センター やますそ	「公共交通のあり方について」 「子どもたちのアフターコロナの日常生活と地域とのか かわりについて」

○公共交通のあり方について

- ・「伊那本線」には、あまり乗っていないように見えるが利用状況はどうか、周知を。公共交通の乗降場所に待機施設が欲しい。中央病院まで行くので高校生が利用している。
- ・周辺(高遠・西春近)に商店が少なくなり、車がないと暮らせない。免許返納できない。
- ・ぐるっとタクシーを利用していないのでわからないが、運転手が足りないようなら、外国人労働者を運転手として雇ったらどうか。東ティモールは若者が多い国であり、北原巖男さんが協力してくれるはずである。 ・とくし丸は便利で良い。

○議会関係

- ・市報には議員の質問しか載っていないが、市政の決算の結果を市長にしっかり詰めていないのではないか。市長が質問に対し「できない」と言われたら終わりにしていないか、もっと突っ込んで欲しい。
- ・会派など議員だけの議論にしないで、伊那市議会でまとまった議論にしないと質問や提言は市長に通らない。
- ・民間の会社なら発注後の結果や検証は、予算と決算との関係で必ず事業評価するものだ。仮にうまくいかない場合や失敗した場合でも、そこから教訓を引き出し、次期に活かす。市長がDXや自動運転など新しいことをやるのは悪くはないが、その結果がどうなったのか議会は検証をすべきだ。役に立っているのならその効果を市民に周知して欲しい。

○サルの被害対応について

- ・長藤の的場に多くのサルが現れて、野菜や果物を食べに来て、畑を荒らされる。
- ・サルは3つほどの群れができており、多いところでは一つの群れで50~60匹になっている。
- ・サルの追い払い対策として、鳥獣用火火（1本700円~1000円）の購入の補助をして欲しい。
- ・畑は野菜の畝ごとに防護ネットを張っている。その防護ネットの購入補助をして欲しい。
- ・サルを射殺すれば、効果は大きいので、猟友会に依頼するのはどうか。
- ・西山では大きな穴を掘り追い込んで効果があったということなので、その取組みはどうか。

開催日	会場	テーマ
令和5年8月22日(火)	高遠子育て支援センター	「子育て世代の声を聞かせてください」
<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日でも遊べる屋内の遊び場が欲しい。 ・おむつのサブスク（定額でおむつを使えるサービス）が欲しい。 ・育休中の保護者に金銭的支援を。 ・父親育休が普及していない。 ・産後の宿泊サービスを市が負担して欲しい。 ・1年目から全員希望の保育園に入れるようにして欲しい。 ・兄弟が別々の保育園になってしまい、送迎が大変。 ・1歳未満の子を急に預けたいときに困っている。 ・病児保育の手続きをもっと簡素化して欲しい。 ・食品添加物（アミノ酸等）が子どもに与える影響が心配。 ・発達障害の子が多いのは、母親の食べた物に添加物が多く含まれていたから？ ・農薬や除草剤は子どもたちに影響を与えているのではないか？ ・伊那小や伊那西小に入りたい場合は、その学区に引っ越さなければならないか？ ・タブレットの使用は学校内に限って欲しい。（会話の減少、思考力低下） ・在宅ワークできる会社が少ない。 ・子育てではお金がかかるのに、稼げる仕事がない。 ・子育てに関する情報をネットやインスタで発信して欲しい。 		

開催日	会場	テーマ
令和5年 9月26日(火)	高遠町総合福祉センター やますそ	「これからの観光 ～人・こと・もの・技をいかして～」

○歴史のイベント等について

- ・これからの未来への投資が必要。また、他にないことをやる必要がある。
- ・高遠城の復活 →日本で最後に作られた城として観光PR →高遠城の築城により、地域の材木を使用など、地域で用意できる材料を利用するなど、築城に係わって地域資源（ハード、ソフト面）を利活用するなど、築城に便乗した地域活性化
- ・他の地域でやっていないイベントで、かつどこでもやろうとすればできるイベントを行ってみてはどうか。観光ポイント（ブロック）を作り、歩いての移動や車等で移動し、その地域を学ぶことができるイベントがあれば良い。 →高遠の歴史、長谷の自然、富県の竪穴式住居などの歴史 等

○ひと

- ・市の職員を含む（観光に対する）人材の育成をして欲しい。
- ・ガイド協会に高校生の力、女性の力、障害者の力を活用。お金を払う。

○さくらホテル、宿泊施設、農家民泊に関すること

- ・さくらホテルの改修、利用率の向上
- ・子ども達を含め、農業体験など、自然体験はとても大切。農業を活かした観光、農泊(民泊)を推進していくと良いのでは。身近な川、山で子ども達に遊んでもらえる環境を整えることが必要では。春夏秋冬、四季折々の良さをPRすべき。伊那の自然環境は、売りがたくさんある。
- ・旅人がとどまる場所が少ない。長期で滞在できる場所が少ない。
- ・高遠、長谷の農家民泊数の向上。農家民泊と伝統食と文化、自然体験をアピール。

○高遠町地区に関すること

- ・城址公園の充実。ひと、イベント、新技術で、年間通して誘客。屋台、山車を町内に展示して見られるように。冬のイベントとして仙醸など酒蔵との連携ツアーを企画するなど
- ・保科正之公のドラマをぜひ
・鏐持神社のお祭りを観光に
- ・石仏を見て街をゆっくり歩く文化を。もっとPRしても良い。パンフレットは良い。
- ・道の観光（秋葉街道・諏訪街道等）の周知と活用をして欲しい。昔の伝統を守る、街道の名前（スケッチ街道？ 絵島祭りの方がよかったのでは。）

○長谷地区、道の駅南アルプスむらに関すること

- ・長谷の道の駅にも、子どもの遊び場が無い。

○観光全般に関すること

- ・バスなど公共交通の利便性が悪い。特に伊那市街以外の地方地区。
- ・通過車両が多く、騒音と排気ガスが多いと思う。
- ・食文化を知りたい。こおりもち、野沢菜など
- ・外国人旅行者の観光窓口、学習会、アピールするコース、長く泊まれる情報発信。
- ・シビエレストラン処理場と猟友会、消費者の連携づくり。
- ・高遠・長谷の伝統食の復活。発酵食品(味噌・日本酒・漬物・醤油)、そば、豆腐。
- ・千代田湖、入笠山、守屋山、杖突峠等観光地が多いが、諏訪圏域や箕輪町と連携しあって活性化

化を目指す必要がある。上伊那全体での誘客が出来るようにしていきたい。

○山について

- ・リピーターを多く作ることを検討すべき。山小屋スタンプラリー、観光スポットスタンプラリーなど検討してみたらどうか。
- ・山に登ってただ帰ってしまうのではなく、街での滞在時間を長くし、街中を探索していただき、地域にお金を落としてもらうためにはどうしたら良いか考える必要がある。
- ・入笠山へのアクセス道路、山室側からの県道芝平高遠線整備を進めて欲しい。

○その他

- ・集落が高齢化し、農地の荒廃化が進み、景観が損なわれている。何とか荒廃農地を無くす。
- ・美術や芸術に触れる機会がない。知る活動が必要では。

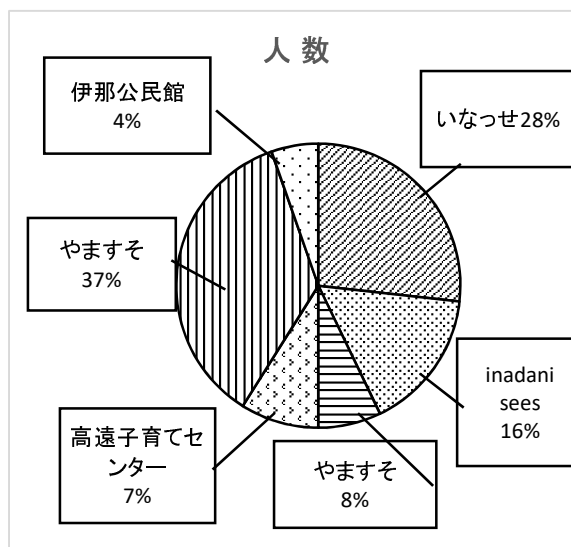
開催日	会場	テーマ
令和5年9月30日(土)	伊那公民館	「公園等の遊び場について」
<ul style="list-style-type: none">・街中にバスケやキャッチボールができる場所などが欲しい。・草刈りが十分でない公園がある。・小さい公園で使えない遊具が放置されている場所があるので整備して欲しい。・使われているのかどうなのかわからない、遊んでいい場所かわからない。表示を。・高遠や長谷に遊園地がないのでつくって欲しい。子どもの遊び場は高遠図書館の遊具ぐらい。河南グランド2歳ぐらいは厳しい、水場がない、夏は影になるところがない、ほとんど遊ぶ人がいない。・公園は囲まれていて欲しい。子どもも親も守られている空間遊び場。・学校帰りに寄れたり、家族で憩える公園が欲しい。・神社、長谷のグランド、園庭、園や学校の体育館など、遊べる場所を公開して。・利用できる公園マップを作成、産後10ヶ月位の頃にダイレクトメールするか検診の際に渡す。・子育て中ママにヒアリングして欲しい。 ・親子交流の場、困ったことを話し合うところ。・地元においても知り合いが増えない、出会いたい、知り合いたい。地元の方と話したい。・高齢者の集い場。・住宅街に公園が少ない。子連れで歩いて行けるところ。・徒歩か自転車で気軽に行ける公園が必要。 ・公園のネーミングライツ・動物と一緒に遊べる公園が欲しい。・動物園(飯田の様な)小さな乗り物(100円で)汽車、伊那へ行って遊びたい。・家族で楽しめるサイクリング、ゴーカート、室内大型トランポリン。・街中に遊園地的な公園やちょっとした動物園、キャンプ場などがあると良い。・雨の日の遊び場が必要。室内でエネルギーを発散できる体育館のようなところ。例：喜多方市 めごぷらざ、春日井市ぐりんぐりんなど全天候型の遊び場。・おむつ交換のために、東屋は必要。 ・自然を利用したアスレチック公園が欲しい。・新しい滑り台は静電気でバチバチする。対策必要。		

第7回 市民と議会との意見交換会アンケート集計表

意見交換会参加人数:60人
 アンケート回答人数:56人
 (回答率:93%)

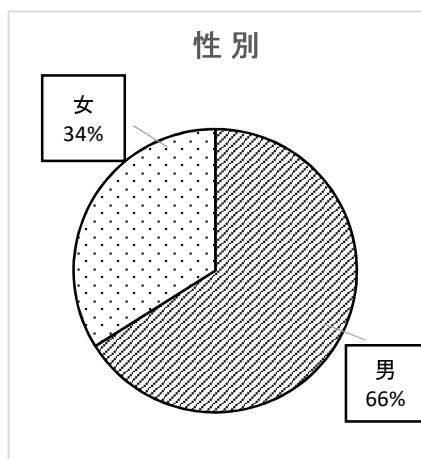
参加会場

	人数	割合
いなっせ	15	27%
inadani sees	9	15%
やますそ	4	7%
高遠子育てセンター	5	7%
やますそ	20	35%
伊那公民館	3	4%

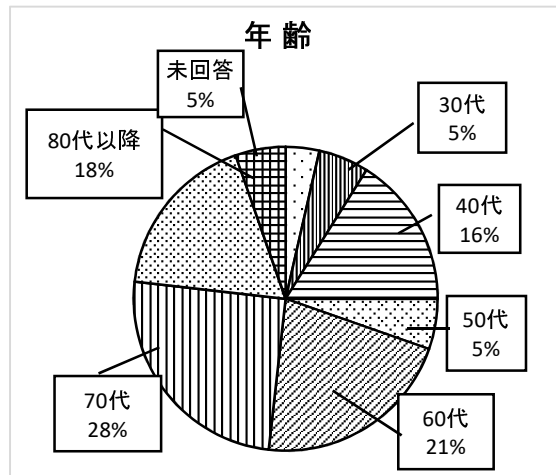


性別

	人数	割合
男	37	66%
女	19	34%



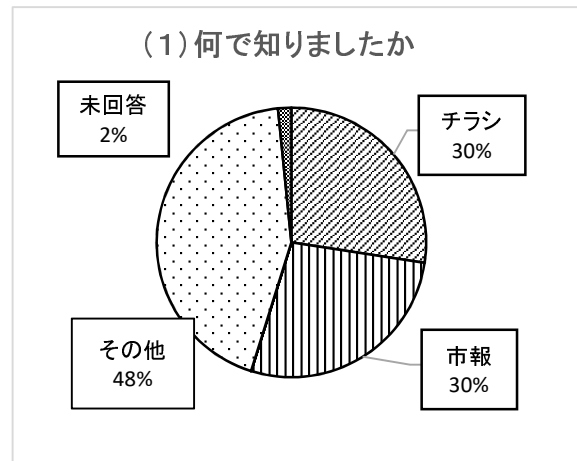
年齢	人数	割合
10代	0	0%
20代	2	4%
30代	3	5%
40代	9	16%
50代	3	5%
60代	12	21%
70代	14	28%
80代以降	10	18%
未回答	3	5%



1 市民と議会との意見交換会について

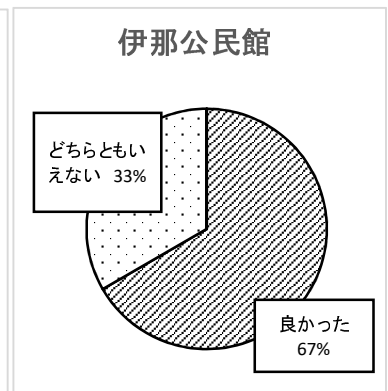
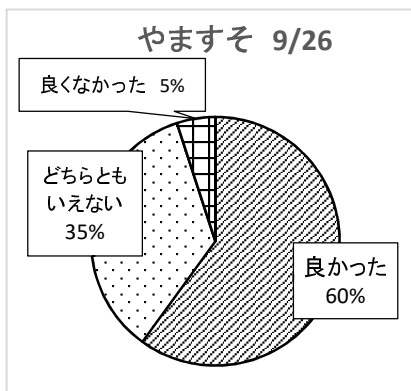
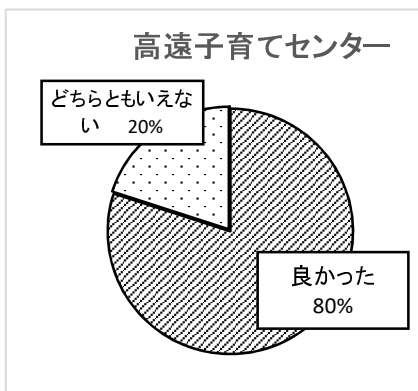
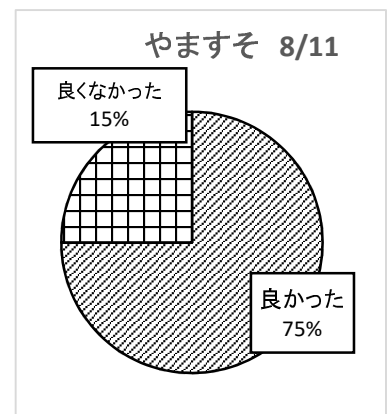
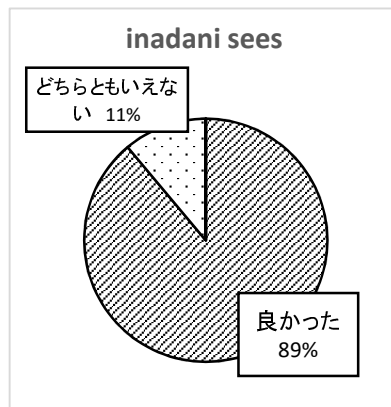
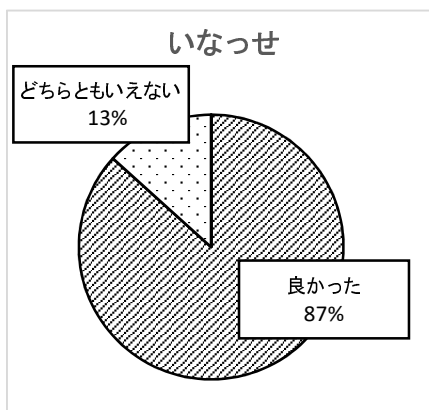
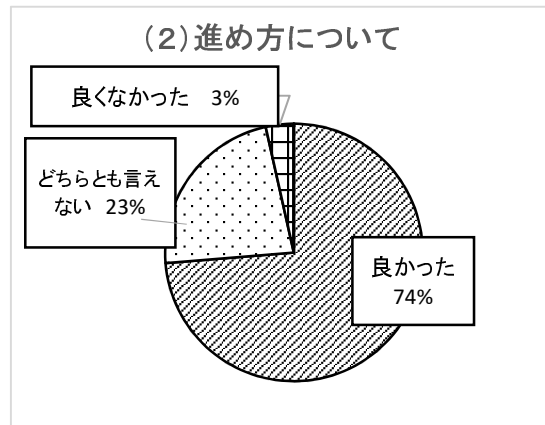
(1)この意見交換会を何で知りましたか

	人数	割合
チラシ	17	30%
市報	17	30%
有線放送	0	0%
ケーブルテレビ	0	0%
Facebook	0	0%
その他	27	48%
未回答	1	2%



(2)意見交換会の進め方(ワークショップ形について

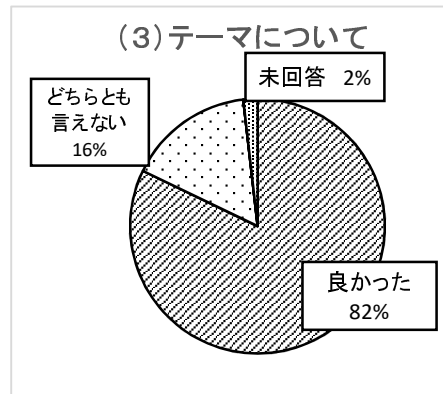
	人数	割合
良かった	42	74%
どちらとも言えない	13	23%
良くなかった	2	3%
未回答	0	0%



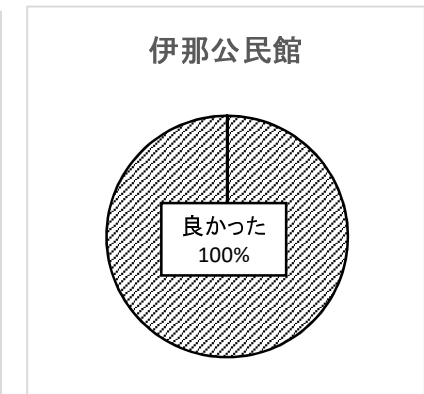
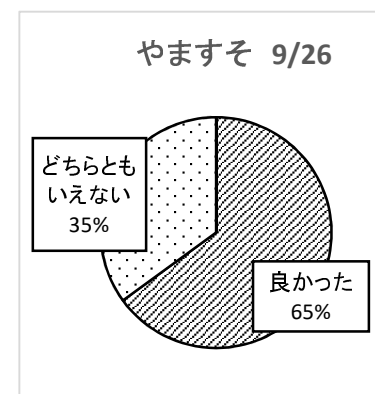
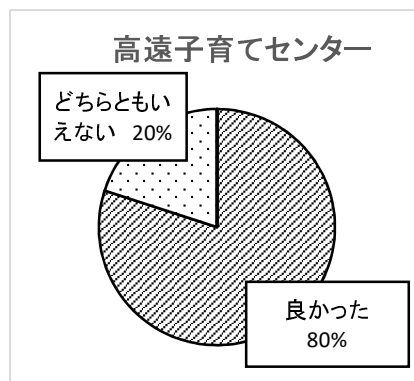
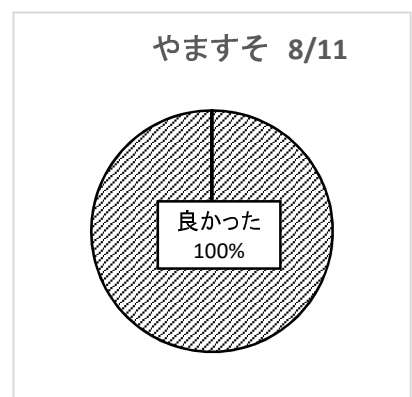
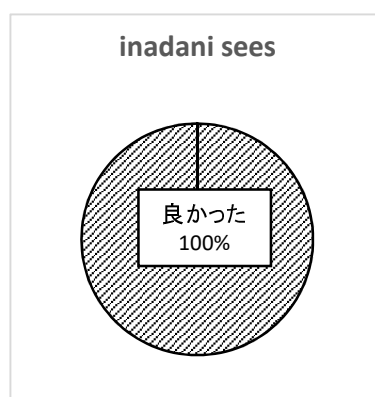
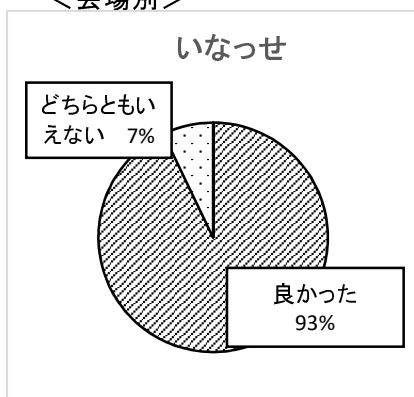
- ・自分の思っていることが言えてよかった。
- ・スムーズ
- ・今まで知らなかったことが知れた。
- ・参加者の意見が聞けた。
- ・いろんな意見を聞けた。
- ・ざっくばらんで話しやすかった。
- ・グループ討議は参加者の声が聞けてよかった。市の施策について概要を話してもらったら、きっかけがもっとできるかも。
- ・具体的に公共交通の問題を皆様から指摘や質問等が出て、議員の方の回答など有意義だった。
- ・実際には私は車を運転しているので、ぐるっとタクシー、バスにしても聞いた話です。
- ・色々な意見が出され、それぞれの人の思いがよく伝わってきた。
- ・地域に色々な方、熱い思いを持った方がいることを知れてよかった。
- ・意見を発散させ、集約し、発表する形式
- ・高遠町の観光に議論が集中したこと
- ・好き勝手な話をされていてまとまらない。
- ・義理で出席したが、ほとんど参加者がいなかった。
- ・焦点化した話し合いになるようテーマを絞リたかった。

(3)意見交換会のテーマについて

	人数	割合
良かった	46	82%
どちらとも言えない	9	16%
良くなかった	0	0%
未回答	1	2%



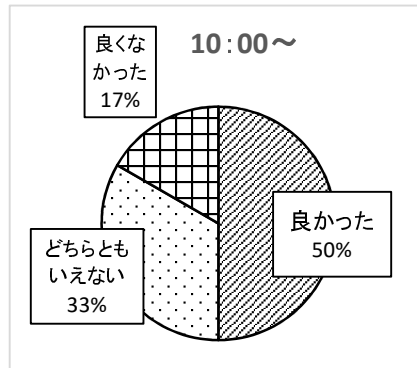
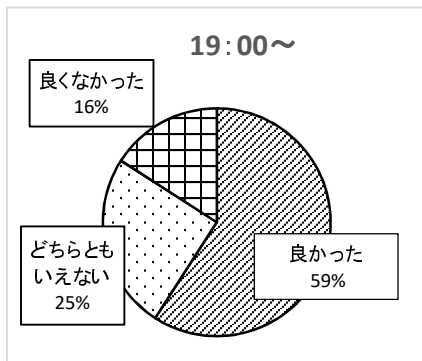
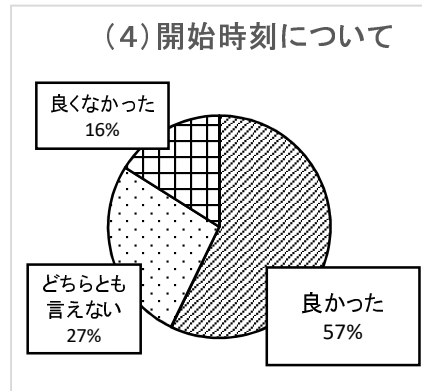
<会場別>



- ・ 具体的な意見が出た。
- ・ 世間で問題となっている公共交通問題については、非常に関心のあるテーマでした。
- ・ 身近な問題だった。
- ・ とてもタイムリーなテーマだった。
- ・ 少しテーマが広がった。
- ・ 観光にはみんな関心があるので。
- ・ 今回のテーマは観光。どうまとめるか。
- ・ 地区を区切った意見交換が大切かも。

(4) 意見交換会の開始時刻について

	人数	割合
良かった	32	57%
どちらとも言えない	15	27%
良くなかった	9	16%
未回答	0	0%

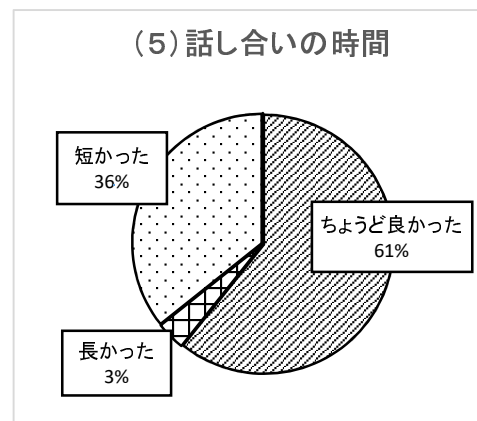


- ・ 昼間にしたい。
- ・ 昼間にしていると出席しやすい。
- ・ 個人的にはもっと早い時間が良い。
- ・ 30分早くても良かった。
- ・ 18:00～が良い。
- ・ 18:30くらいでも良いのでは。
- ・ もう少し早いと良い。
- ・ もう少し早くても良い。

- ・ 冬場がいい。
- ・ 高齢者は夜は出られない。
- ・ 夜が自由がききますよね。
- ・ 支援センターの場合は、プールやお楽しみの時間とかぶらない時間帯

(5) 意見交換会の話し合いの時間について

	人数	割合
ちょうど良かった	34	61%
長かった	2	3%
短かった	20	36%
未回答	0	0%

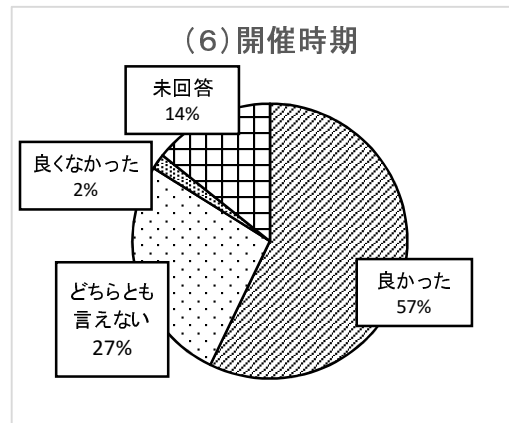


- ・ 長ければいいというわけではない。

(6) 意見交換会の開催時期について

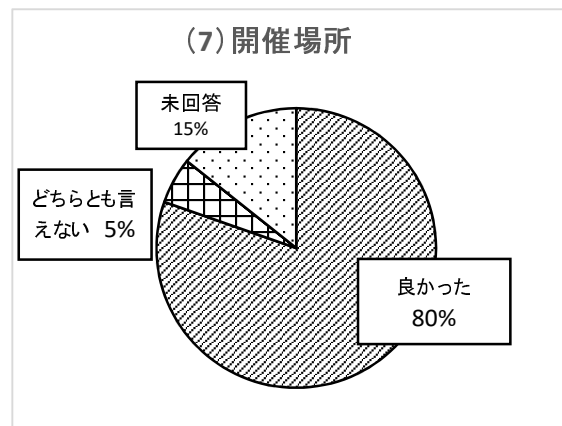
	人数	割合
良かった	32	57%
どちらとも言えない	15	27%
良くなかった	1	2%
未回答	8	14%

- ・ 年2回、3回と様々なテーマで開いて欲しい。
- ・ 1～2月、6～7月
- ・ 時期に関係なくいつでも良い。
- ・ いつでも良い。
- ・ PRが足りない。



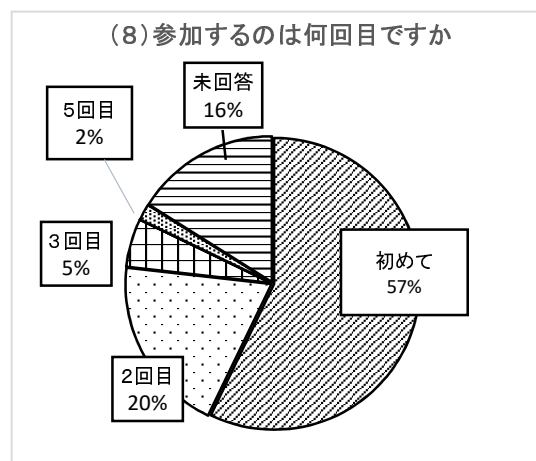
(7) 意見交換会の開催場所について

	人数	割合
良かった	45	80%
どちらとも言えない	3	5%
良くなかった	0	0%
未回答	8	15%



(8) 市民と議会との意見交換会に参加するのは今回で何回目ですか。

	人数	割合
初めて	32	57%
2回目	11	20%
3回目	3	5%
4回目	0	0%
5回目	1	2%
未回答	9	16%

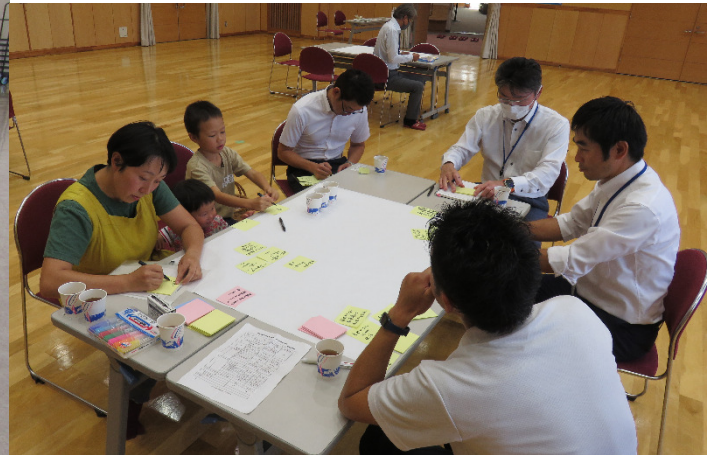


2. 意見交換会に望むこと、開催、運営方法等についてのご意見

- ・ここに来られない方の意見を聞きたいです。(車がない人は出席できない)
- ・本当に困っている人を助けて欲しいと思います。参加したくても、足がなくて来れない人もいっぱいいます。
- ・市民の声をしっかりと聞き機会をたくさん作って欲しい。
- ・もっと多くの市民が参加できるようにPRされたらどうでしょうか。
- ・テーマや場所が何か手段を考えたら良い。
- ・このような機会をもっとやってもらいたい。
- ・3グループで話し合っても、他のグループのことが分からない。時間長くても全員で共有できるような会にしたほうが良かった。
- ・テーマについての資料的なものも欲しい。
- ・子どもの声を活かす場をぜひたくさんつくって欲しい。こども基本法の理念を具現化する拠点にするために。
- ・もっと大勢の人が参加すると良いですね。
- ・インスタグラムも活用したほうが良い。
- ・在職中の方も気軽に参加できるように、企業での開催も検討してはどうか。
- ・子育て世代の意見交流会、とても大切だなと思いました。しゃべるだけでほっとできるし、働く人も参加できるような託児付きの話せる場所、会がもっとあると良いと思いました。若い人の市政への関心も高まるでしょうし。
- ・議会の方と何度か(年に)あるといいのかなあと今回参加してみて思いました。
- ・事前共有として伊那市なのか、高遠なのか、上伊那なのか共有しておきたかった。
- ・普段お会いしたことのない方々のお話を聞ける機会に参加できてうれしかった。
- ・参加者の年代、性別のかたよりに感じた。
- ・多からず少なからずこのくらいが良い。
- ・意見交換会の開催の周知方法が不十分ではないか。市報、新聞、回覧、目にとまらなかった。
- ・また定期的に実施して欲しいです。議員さんと話せる機会があり、よかった。議会が身近になった。

3. その他ご意見

- ・伊那市生涯学習センターのあり方検討会(20年がたって生涯学習の学びのスタイルやシニアの担う役割が変わってきたから)
- ・話し合いの時間について、長ければ良いというわけではない。ただ出席者に現状をよく知っている人と、良く分からない人の差がありすぎ。現状をまとめて初めに話をしてもらうと良かった。
- ・この市民と議会は、年2回くらい、できれば議会ごとによければ良い。
- ・2つのテーマのうち1つしかできなかった。
- ・市民がもっと関心を持たねば。
- ・伊那北駅周辺はほとんど決まっているとの話があった。
- ・今回の意見を必ず活かしてください。よろしくお願いします！
- ・また機会をみつけてこようと思います。



この報告書は、伊那市議会ホームページでも公開しています。

令和6年2月

伊那市議会事務局 TEL0265-96-8149 e-mail:gkj@inacity.jp